



## Medical Report

札幌心臓血管クリニック(医療法人札幌ハートセンター・札幌市東区)にとって昨年は開院5周年の記念すべき年であるとともに大きな転機となる年だったようだ。19床のクリニックから53床の病院へと生まれ変わるとともに、不整脈治療のスペシャリストである鶴野起久也ハートリズムセンター長が常勤医として赴任。循環器内科・心臓血管外科・不整脈治療の3つの循環器分野で、国内有数の症例数を誇る専門病院となった。藤田勉理事長に昨年を振り返ってもらい、今後の展望を語ってもらった。(1月16日収録)

藤田 勉(ふじた つとむ)  
昭和61年旭川医科大学医学部卒。同61年に札幌徳洲会病院、平成元年に国立循環器病センターを経て、同2年札幌徳洲会病院へ。同12年に同院副院長兼循環器センター長、同18年に院長代行。同20年、札幌心臓血管クリニックを開設。同23年に医療法人化、理事長に。日本内科学会認定医・専門医、日本救急医学会専門医、日本循環器学会専門医、日本医師会認定産業医、日本心臓血管インターベンション治療学会指導医

# 札幌心臓血管クリニックが今秋、カテ室を倍増しさらに飛躍!

循環器内科、心臓血管外科、不整脈の3本柱

開院から数年で札幌心臓血管クリニックは急成長し、設備や人員体制も目まぐるしく変化しています。2013年はどのような年でしたか。

藤田 これまでは19床のクリニックでしたが、病床を移動して53床の病院に生まれ変わった。まずはこれが大きな変化でした。病院化によってより多くの患者さんを受け入れられるようになったというだけではなく、病院でなければできなかった治療法を新たに実施できるようになりました。僕の専門である循環器内科ではローターアブレーターやレーザ治療という治療法(※●Pに解説)が実施できるようになり、この両方を実施している施設はほとんどありませんから、将来的にこの分野での教育施設にもなっていくのではないかと期待しています。

また、不整脈治療のスペシャリストである鶴野(起久也)先生が常勤となったことで、僕の循環器内科、道井(洋史)先生の心臓血管外科とともに循環器治療の3本柱が名実ともに

機能し始めたというのも昨年の大きなトピックです。鶴野先生の不整脈治療は現在、手稲の札幌心臓血管内科・リハビリテーションのカテール室で実施していますが、始動して1年にも満たないのにカテ室一つではすでにキャパシティが足りない状況です。嬉しい悲鳴といったところですが、今年は設備や人員面での増強を図り不整脈治療を担当するハートリズムセンターを本格的に構築していきたいと考えています。

心臓血管外科の分野では昨年、麻酔科の常勤医が1人増えて、2人体制で安定して手術を行なえるようになりました。これは年間の症例数にもしつかりと表れています。2013年の開心術は330例を超えており、この数字は北海道で最も多く手術を行なっている道井先生が6年前に一度だけ出した数字です。それを昨年に手術室が本格稼動して最初の年にいとも簡単に塗り替えてしまった。本人も驚き、チームのおかげだと喜んでいましたよ。

カテール治療数は全国トップの勢い

循環器内科や不整脈の分野で

# 循環器治療の`3本の矢、が国内トップレベルに

# 本格稼働した年間症例数

の症例数は。

藤田 循環器内科のPCI(カテール治療)は2293例で過去最高となりました。おそらく全国で1位あるいは2位の数字になるかと思っています。不整脈の治療法であるカテールアブレーションの症例数も773例と、これも全国有数の数字となりました。



札幌心臓血管クリニックには現在、最新鋭のカテーテル室が3室あるが、今秋の工事で倍増の6室となる

— 全国トップレベルの症例数と、循環器内科、心臓血管外科、不整脈の各分野でスペシャリストが揃う病院というのは例がないですね。

藤田 そのが当院の強みでもあります。3つの分野の中でどの分野が強い、というのがなくすべてが最高水準だと自負しています。ですから、本当は外科がベストだけど内科が上手いから、といった理由で治療を選ぶ必要もない。さまざまな治療法の中で患者さんにとって何が最善の治療法なのかと純粹に選択し、提示することが出来る。

— 実際にはどのように治療法を選択していくのですか。

内に例がありませんね。

藤田 これまでの倍に増強です。そうしなければならぬ時期に入っています。3つのカテ室のうち、2つを不整脈治療のハートリズムセンターに、1つを全体が使えるものにする予定です。

— では、これまで不整脈治療を行ってきた手稲の札幌心臓血管・内科・リハビリテーション病院の位置付けはどうなりますか。

藤田 手稲の病院は3階に大きなリハビリセンターを作りましので、そこを最大限に利用してリハビリを中心としたクリニックにしていきたいと考えています。ただ、手稲地区にも患者さんはいらっしゃるので、カテ室と64列CTを残したまま、治療面でもある程度対応していくつもりです。

— 開院からわずかな期間であまりにも大きな変化がありました。これは自分でも予測してましたか？

藤田 さすがにここまで(笑)。



藤田 毎朝、カンファレンスをしています。毎日話し合いをすることでお互いの考え方、各分野の最先端の治療を共有していくことが大切だと実感しています。そうやって常に議論しながら患者さんを診ていくことが、長期的に見て一番良い治療法の選択につながるのだとも確信しているのです。

患者さんの治療を考えると、僕はその患者さんと一生のお付き合いをする気持ちで治療方法を考えています。

その治療方法とは、治療のやり方内容であり、どこまで治療するかであり、その治療を何年保証できるかなどです。「長期成績が良い」という言葉がありますが、循環器の分野では実際のところどれくらいの期間を保証するかというと、よくて5年から10年だと思えます。その間に治療方法が劇的に変わる可能性は十分にあり、患者さんの状態が他の要因によって大きく変わるかもしれない。そうしたことを加味して考えると「長期成績が良い」というのは実質的には1年くらいを保証するデータだと思っています。僕の最終的な治療のゴールは、患者さんの10

年先、20年先を考えた治療であって、言い換えれば心臓血管の分野で患者さんの人生に責任を持つ治療です。この目標を達成するために、今の3本柱(循環器内科・心臓血管外科・不整脈)の体制は必要不可欠なことだと考えています。

**今秋には改修工事でカテ室が6室に倍増**

— 患者が急激に増えていることで大きな需要に供給側が追いついていないのかという心配もあります。

藤田 今年の春からドクターがさらに増えます。循環器内科では30代前半の若手が2人、心臓血管外科も2人、不整脈も1人増えるんです。

— すでに20人近くの医師が常勤されていますが、さらにマンパワーの増強を図っていくと。

藤田 やはり症例数が多いとやる気のある若手が集まってきてくれます。本州からの方が多くですが、遠く北海道まで、学びたいと言って来てくれる。ありがたいことです。さらに、施設の面では第三期工事を今年実施して、10月までにカテーテル室を新たに3室作ります。

— 合計6つのカテーテル室。道

に毎日を過ごしているわけじゃない。症例数を増やすための医療ではない。

藤田 そうです。患者さんのための医療って何だろうかと考え、患者さんに寄り添った医療を展開してきてたら結果として患者さんが増え、規模も大きくなった。この「結果として大きくなった。患者さんが増えた」ということが大切なんだと思います。目的はあくまで患者さんにとって最善の医療を提供することなんです。

— ただ、開院当初はゆったりとした空間に思えた待合室も、今ではずいぶん手狭な感じになってしまいました。

藤田 実は待合室のリニューアル工事がもう少しで始まり、ゴールデンドライク明け頃には今の倍近くの広さになると思います。いわゆる医療行為とはあまり関係のない部分ですが、僕はずっと気にしていた件でしたのでホッとします。

— 今年も発展の年となりそうですが、今後の中期的な目標は。

藤田 僕も道井先生も鶴野先生も、ずっと現場で仕事をきて、言ってみれば良い治療をしてナンボの世

**■レーザーカテーテル治療**

血管が詰まっている範囲が長かったり、石灰化によって硬くなってしまった場合には、バルーンカテーテルをなかなか通すことができなかったが、レーザー治療は詰まりの原因である動脈硬化の病変部だけをレーザーで分解する高度先進医療



**■ローターブレード療法**

先端がダイヤモンド粒子でコーティングされたドリルのような器具をカテーテルの先端に取り付け、血管の狭窄部を切除・粉碎して内側から血管を拡げる。藤田医師がこれまで実施したローターブレード療法の症例数は3500例を超える

界で生きてきた人間です。その3人が手を取り合い新しい医療の姿を創ろうとしている。この思いや技術姿勢を下の世代に継承していきたい。それがこれから10年の大きなミッションです。そうして僕らが引退していなくてもさらに発展していくような病院であってほしい。

— 藤田先生が個人病院として始めたクリニックですが、藤田商店であってはいけません。

藤田 素晴らしい縁があつてここまで大きな組織になったのですから、商店のままだと社会に申し訳ないです。世界に誇る施設にすることが僕を育ててくれた地域への恩返しにもなる。そして、当院で活躍している次の世代の医師たちもそれだけの力を持っていると期待しています。

— 夢は膨らみ続けますね。本日は、ありがとうございました。

■医療法人 札幌ハートセンター

\*札幌心臓血管クリニック  
札幌市東区北49条東16丁目8-1  
011-784-7847

\*札幌心臓血管・内科・リハビリテーション病院  
札幌市手稲区前田6条16丁目1-2  
011-683-4141